

韓国でアフリカ豚熱感染拡大中！

韓国において、アフリカ豚熱ウイルス(ASFV)に感染した野生いのししの確認が拡大しています。

韓国南部に位置する釜山では、昨年12月に野生いのししで感染が確認されてから、2月2日に12例目まで増加しています。

1例目と2例目の場所は、17kmも離れていることから、人・物を介したASFVの感染拡大が強く疑われている状況です。釜山は、日本と行き来するフェリーの発着場所に近く、日本国内への侵入リスクが非常に高まっています。

また、韓国では1月18日に飼養豚での感染(今年度5例目)も確認されました。春節等により人や物の動きが活発になっていることを踏まえ、引き続き、家畜伝染病の侵入防止対策の徹底が必要です。

発生予防対策の重要ポイント

【人・物・車両によるウイルスの持込み防止】

- 衛生管理区域、豚舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
- 衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と使用の徹底
- 人・物の出入りの記録
- 飼料に肉を含み、または含む可能性があるときは、攪拌しながら摂氏90度・60分間以上の加熱処理を徹底

【野生動物対策】

- 飼料保管場所等へのねずみ等の野生動物の排せつ物等の混入防止
- 豚舎周囲の清掃、整理・整頓
- 死亡家畜の処理までの間、野生動物に荒らされないよう適切に保管

飛騨家畜保健衛生所(飛騨総合庁舎内)

〒506-8688 高山市上岡本町7-468 E-mail: c24508@pref.gifu.lg.jp

TEL:0577-33-1111(内線403) FAX:0577-32-9019

※閉庁時には「お急ぎの場合は、そのまま「1番」をダイヤル願います。」の案内メッセージに従って対応をお願いします